



証券コード:7472

第74期 報告書

2022年4月1日 ▶▶▶ 2023年3月31日



株式
会社

鳥羽洋行

百年の信頼を未来につなげる

最新の商品、 技術及びサービスの提供

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、
ありがたく厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第74期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)
の報告書をお届けするにあたり、当期の概況をご報告する
とともに、ひとことご挨拶申し上げます。



当期の概況

当連結会計年度における世界経済及び日本経済は、一般的な社会経済活動の正常化に向けた動きが進行したものの、ウクライナ情勢をはじめとする地政学的リスクの高まりに伴う資材不足とエネルギー価格や原材料価格の高騰、世界的なインフレの進行による金融政策の引き締め等、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような経済環境下における当社グループの国内販売につきましては、スマートフォン及びPC関連向けの半導体は需要が停滞いたしました。また、その他パワー半導体等に関連する設備投資は旺盛で、半導体製造装置関連の得意先への販売は好調に推移いたしました。また、産業用ロボット及び自動化システムの販売は、人手不足による自動化設備需要の高まりと販売体制の強化により、堅調に推移いたしました。自動車関連の得意先への販売は、半導体不足や原材料価格高騰の影響もあり減少いたしました。電気自動車関連の設備投資に関しましては依然拡大傾向にあります。

一方、海外販売につきましては、中国における新型コロナウイルス感染症拡大によるロックダウン及びその後の感染再拡大、加えて半導体をめぐる米中摩擦等の影響もあり、スマートフォン向け電子部品に関連する得意先

への産業用ロボットの販売が低迷し、前期を下回る結果となりました。

以上の結果、売上高は294億82百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は16億94百万円（前年同期比14.1%減）、経常利益は18億円（前年同期比12.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は投資有価証券の売却による特別利益を計上したことにより14億29百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

株主の皆様に対する配当方針につきましては、安定的な配当の継続を目指すとともに、株主の皆様に対する公明性を明確にした業績連動型の配当性向を基本と考えております。当期の期末配当金につきましては、今後の事業展開などを勘案し、1株につき120円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月
代表取締役社長 遠藤 稔

部門別概況

制御機器

生産工場の構成には欠かせない

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継手、真空機器、緩衝器等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体及び半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品、工作機械等を製造する得意先へ販売しております。

当連結会計年度におきましては、電気自動車関連の得意先への販売は増加し、半導体製造装置に関連する得意先への販売は、前期を若干下回ったものの底堅く推移いたしました。一方、スマートフォン関連等の半導体・電子部品の需要は徐々に減少傾向にあり、電子部品に関連する一部得意先からの受注が減少いたしました。

以上により制御機器全体の売上高は前期を下回る83億59百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

FA機器

工場の自動化・コストダウンを実現

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、半導体及び半導体・液晶製造装置、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当連結会計年度におきましては、自動車生産台数が緩やかな回復傾向にあることから、自動車・車載部品関連の得意先向けの産業用ロボットの販売が堅調に推移いたしました。一方、中国におけるスマートフォン等に関連する得意先への販売は、新型コロナウイルス感染症拡大によるロックダウン等の影響を受け前期を大きく下回る販売結果となりました。

以上によりFA機器全体の売上高は前期を下回る145億65百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

産業機器

生産組立て作業に使用されている

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、ろ過フィルター、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、半導体及び半導体・液晶製造装置、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

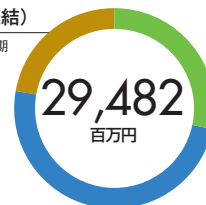
当連結会計年度におきましては、社会経済活動の正常化に伴い、個人消費の回復傾向が見られたことから各種生産工場の設備投資は好調に推移し、様々な生産現場で使用される什器備品や機械工具類の販売が拡大いたしました。また、半導体に関連する得意先向けのろ過フィルターの販売についても、前期を大きく上回る結果となりました。

以上により産業機器全体の売上高は前期を上回る65億56百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

売上高

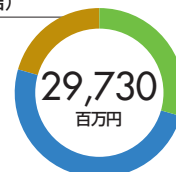
当期（連結）

2023年3月期



前期（連結）

2022年3月期



()内は構成比

業績の推移

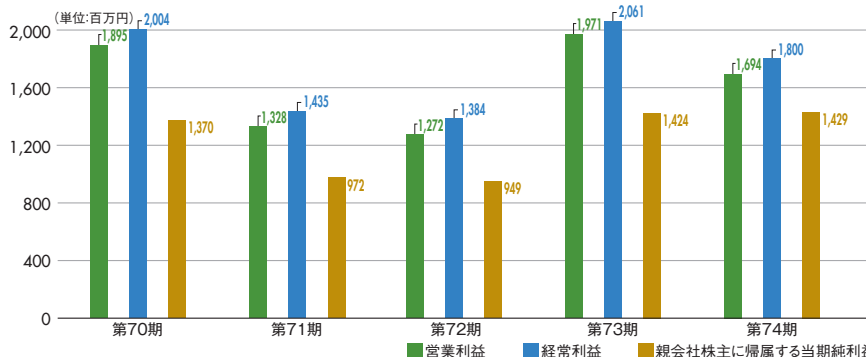
売上高 **294.82** 億円

売上高



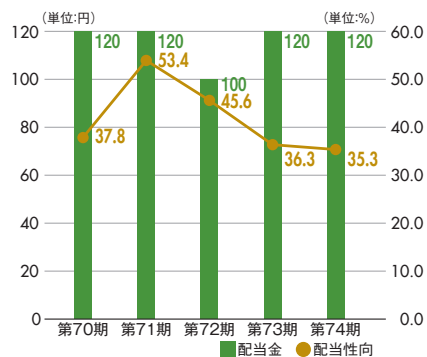
営業利益 16.94 億円 経常利益 18.00 億円 親会社株主に帰属する当期純利益 14.29 億円

営業利益/経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり配当金[※]
配当金及び配当性向 **120** 円

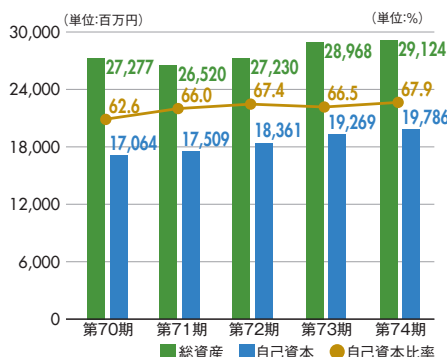
配当金/配当性向



※第72期の配当金100円には、普通配当80円と創業115周年記念配当20円が含まれております。

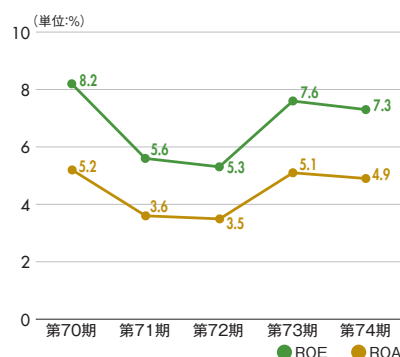
総資産
資産 **291.24** 億円

総資産/自己資本/自己資本比率



ROE ROA
利益率 **7.3%** **4.9%**

ROE/ROA



連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当 期 (2023年3月31日現在)	前 期 (2022年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	22,595,770	21,761,780
固定資産	6,528,301	7,206,851
有形固定資産	1,931,052	1,955,753
無形固定資産	518,329	419,705
投資その他の資産	4,078,919	4,831,392
資産合計	29,124,071	28,968,632
負債の部		
流動負債	8,920,622	9,237,627
固定負債	403,605	450,234
負債合計	9,324,228	9,687,862
純資産の部		
株主資本	18,579,075	18,043,898
その他の包括利益累計額	1,207,120	1,225,121
その他有価証券評価差額金	935,577	1,032,246
為替換算調整勘定	271,543	192,874
株式引受権	13,647	11,750
純資産合計	19,799,843	19,280,770
負債及び純資産合計	29,124,071	28,968,632

連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)	前 期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)
売上高	29,482,106	29,730,353
売上原価	25,077,369	25,175,411
売上総利益	4,404,737	4,554,942
販売費及び一般管理費	2,710,499	2,583,124
営業利益	1,694,238	1,971,817
営業外収益	123,741	120,032
営業外費用	17,162	30,793
経常利益	1,800,817	2,061,056
特別利益	297,186	4,305
税金等調整前当期純利益	2,098,004	2,065,361
法人税、住民税及び事業税	672,974	656,457
法人税等調整額	△4,501	△15,531
親会社株主に帰属する当期純利益	1,429,531	1,424,435

I R 情 報

第74期のIR活動実施状況

- ・2022年3月期 決算説明会
(2022年5月12日 当社本社にて開催)
- ・2023年3月期 中間決算説明会
(2022年11月10日 当社本社にて開催)
- ・個人投資家向け会社説明会in名古屋
(2022年9月21日 大和インベスター・リレーションズ主催)
- ・個人投資家向け会社説明会in東京
(2023年2月18日 大和インベスター・リレーションズ主催)



2022年9月21日
個人投資家向け会社説明会in名古屋



2023年2月18日
個人投資家向け会社説明会in東京

会社概要

社名	株式会社 鳥羽洋行(英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	1949年12月14日(創業：1906年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売、レンタル、リース及び輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルティング。 機械工具器具とその部品類の加工販売、レンタル、リース及び輸出入。 古物売買業。

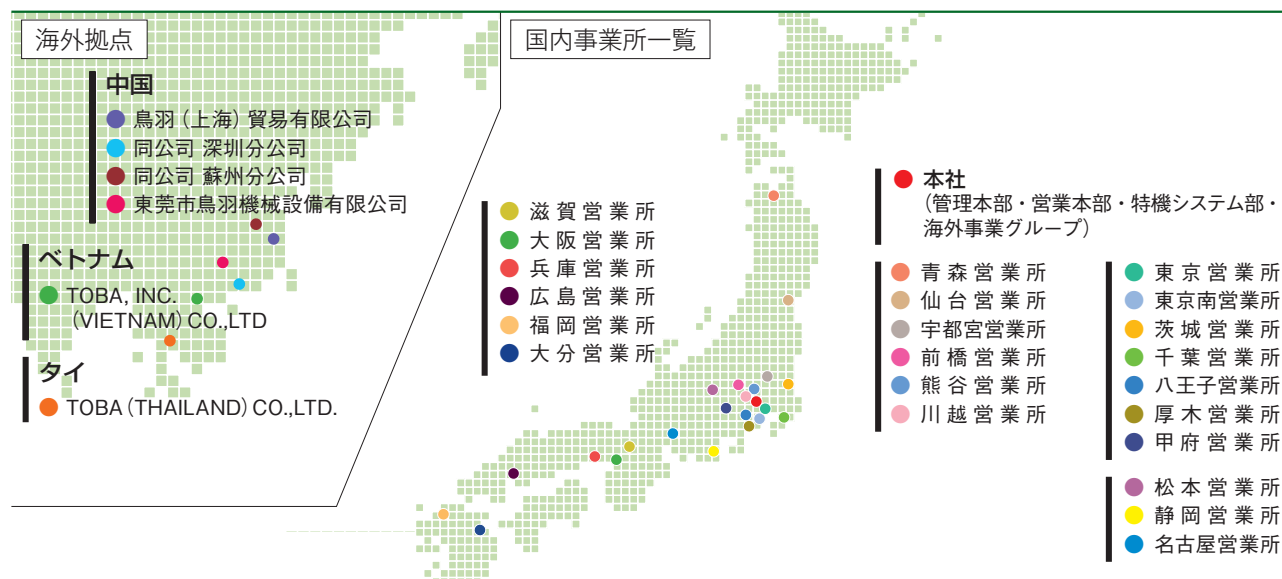
従業員数 連結256名 単独228名(2023年3月31日現在)

(注) 従業員数は、連結会社から連結会社外への出向者を除いた従業員数であります。

役員 (2023年6月16日現在)

代表取締役会長	鳥羽重良
代表取締役社長	遠藤稔
取締役	千國哲王
取締役	島津政則
取締役	池田智則
取締役	村木義和
社外取締役	谷逸夫
社外取締役	小川隆之
社外取締役	成瀬圭珠子
常勤監査役	酒井孝弘
社外監査役	廣瀬勝一
社外監査役	早崎信
社外監査役	川口伸

営業ネットワーク (2023年3月31日現在)

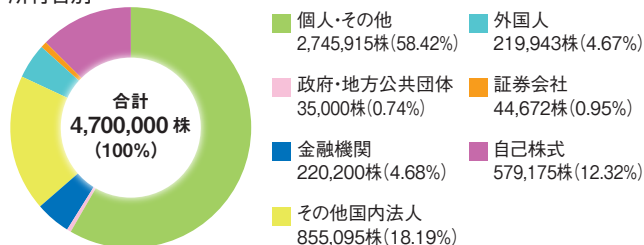


株式数及び株主数

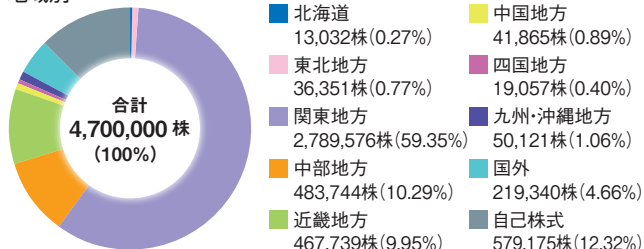
発行可能株式総数	20,000,000 株
発行済株式総数	4,700,000 株
株主数	5,866 名

株式数分布状況

所有者別



地域別



株主優待制度

毎年9月末日現在で100株以上ご所有の株主様に、下記の基準により「QUOカード」を進呈いたします。

	継続保有3年未満	継続保有3年以上
100株以上500株未満	1,000円相当	2,000円相当
500株以上1,000株未満	2,000円相当	4,000円相当
1,000株以上	3,000円相当	6,000円相当

- (注) 1. 継続保有3年以上の確認にあたっては、毎年9月末日の株主名簿に同一の株主番号で、連続して4回以上記載または記録された株主様を対象とさせていただきます。
2. 当社QUOカードは、環境保全のため発行金額の一部を株式会社クオカードを通して「緑の募金」へ寄付し、緑化推進に役立てていただいております。



第74回定時株主総会決議ご通知

2023年6月16日開催の当社第74回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

記

- 報告事項
- 第74期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）事業報告、連結計算書類の内容ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第74期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）計算書類の内容報告の件

■決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、当期の期末配当金は、1株につき金120円と決定いたしました。

第2号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第3号議案 取締役9名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役として鳥羽重良、遠藤稔、千國哲王、島津政則、池田智則、村木義和、谷逸夫、小川隆之、成瀬圭珠子の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月	郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。		
配当金受領 株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日	単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	公告方法	電子公告により行います。 (https://www.toba.co.jp/) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		

住所変更、単元未満株式の買い取り等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



三井住友信託銀行

〒112-0005 東京都文京区水道二丁目8番6号 ☎03-3944-4031 <https://www.toba.co.jp/>